



きれいな学校 輝く笑顔 ~J(授業)A(挨拶)S(清掃)MI(身だしなみ)N(仲間)~

大久保中だより

〒338-0815 さいたま市桜区五関 2 8 2

Tel 048-852-3554 Fax 048-840-1430

Mail Address : okubo-j@saitama-city.ed.jp

やはり勉強は継続した方がいい
~男子3日会わざれば、括目して見よ！~

校長 澤田純一

夏休みも終わりましたが、皆さんの元気な顔を見ることができ、やはり学校はいいなと感じます。それぞれ充実した時間を過ごしたことと思いますが、今日から2学期が始まります。気持ちを入れ替えて頑張っていきましょう。

さて、私の夏休みは、昨年同様、私的には、どこにも行かず終わってしまいました。ただ今年、「さいたま市立中学校国際交流事業」に団長として参加しました。この事業は、市内の中学校57校から代表生徒各1名がニュージーランドに派遣され、国際社会を体験するとともに、現地の生徒との交流を深めるという事業です。本校からは3年生の近野友紀さんが校内選考を経て参加しました。

ある程度予測はしていたのですが、成田空港から搭乗した瞬間から不安は的中しました。ここで、本当の事を話します。私は英語ができないのです。(少くくはできるでしょ。日常会話くらいできるでしょ。と思っている諸君。大きな間違いです。) よって、機内放送が全く分からないのです。それに加え、機内の映画や音楽も英語でした。完全に国際社会の波に乗り遅れたことを痛感させられました。同時に、不勉強を強く後悔しました。現地に着くとホームステイが始まります。そして、毎日、ニュージーランドの中学校に行くわけですが、先生とも生徒ともコミュニケーションがとれませんので、次第に苦勞を通り越して苦痛にさえ思えてきました。もちろん、10日間の事業の中で、ホストファミリーの温かさ、学校の素晴らしさ、そして、南十字星を初めて見たときの感動など、参加して良かったと思えることはたくさんあります。しかし、私が英語という学問を身に付けていたら、さらに素晴らしい体験になったであろうことは想像に難しくありません。

皆さんは、今後押し寄せるであろう国際化の波に立ち向かっていかななくてはなりません。やはり、英語は必須と言わざるを得ません。そこで、提案なのですが、今から一緒に始めませんか？私の好きな慣用句にこんな言葉があります。「男子3日会わざれば、括目(かつもく)して見よ！」これは、【人は3日も会わなければ、技、知識、人間性などが向上し、豹変(ひょうへん)する。よって、しばらく会わなかったときは注意深く見て接しなさい。】ということを表しています。括目(かつもく)とは、目をこすってよく見よ、という事です。理解しやすいように例えてみましょう。《英語が全くできず、コミュニケーションのとれない澤田校長は、ニュージーランドの中学生に相手にもされませんでした。ところが、しばらくして再会した時には、これがあの澤田校長か！と目をこすって驚くほど流暢(りゅうちよう)な英語を話していました。》ということです。分かりましたか？そういうことです。

私は、帰国後、電気店に向かい携帯ラジオを購入しました。次に書店に行き基礎英語Iのテキストを手に入れました。朝6時、夜9時には机に向かいリスニングをしています。

子どもの頃、いつしか「3日坊主」と呼ばれていました。今回はこの汚名を返上するとともに、自ら国際社会の扉を開きたいと思っています。